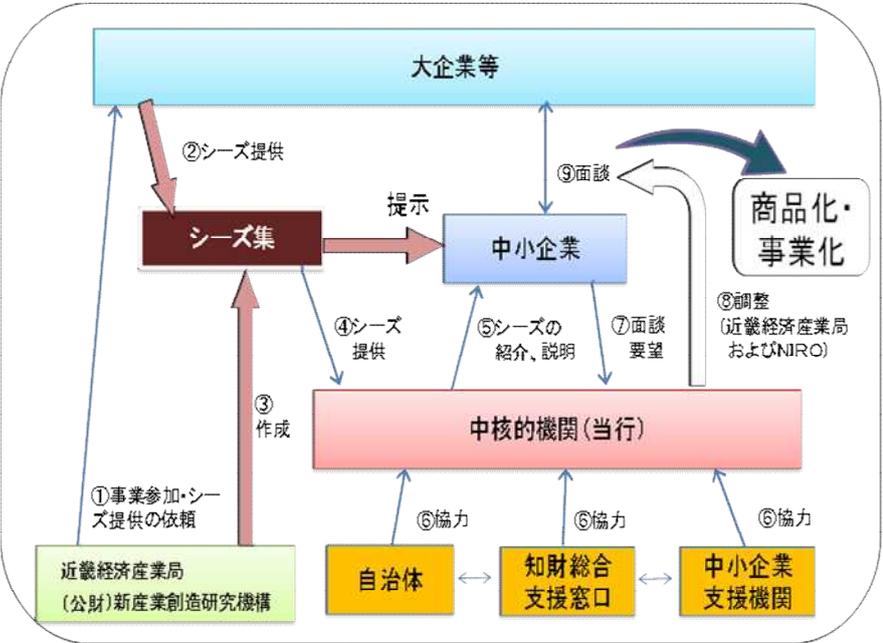


銀行名	紀陽銀行
タイトル	和歌山大学との連携による取引先への学生アルバイト紹介
取組み内容	<p>高野山は、平成16年の世界遺産登録以来外国人観光客が増加しており、今年4～5月の「高野山開創1200年」の記念大法会では全国からだけでなく、外国人観光客など多数の人が来場すると見込まれていた（結果、大法会期間中約60万人の参拝者あり）。そこで、繁忙期の対応に人手不足になると不安を感じた取引先Aより、当行へ短期アルバイトの雇用相談があった。</p> <p>取引先のニーズをヒアリングし、当行が連携協定を締結している和歌山大学に相談。高野山開創1200年記念大法会について歴史的な背景や大法会の内容を説明したところ、学生にとっても貴重な経験になるとのことで、観光学部の学生6名のアルバイト紹介に成功。また、外部の人材派遣会社も併せて紹介し、1名の紹介に成功した。</p> <p>A社にとっては繁忙時期のみの短期雇用を行うことができ、学生にとっては貴重な体験をすることができた。</p>

銀行名	紀陽銀行
タイトル	知財ビジネスマッチング支援
取組み内容	<p>「知財ビジネスマッチング事業」の活用（平成26年7月～） 中小企業の新製品開発や新事業展開を支援するスキームであり、当行は中核的機関として、近畿経済産業局等と連携し、大企業等が保有する開放特許の紹介やビジネスマッチング機会の提供を行っている（これまでの紹介実績は8件）。</p> <p><知財ビジネスマッチング連携協力先> 近畿経済産業局、和歌山県、わかやま産業振興財団 和歌山県工業技術センター、和歌山県発明協会（順不同）</p>  <p>知財ビジネスマッチング事業のスキーム</p>

銀行名	紀陽銀行
タイトル	大規模災害対策に向けた支援
取組み内容	<p>当行は、地域のお客様の津波対策支援の一環として、平成26年9月にサノヤス造船株<本社:大阪市>と「津波避難タワー」設置に関して顧客紹介契約を締結。同社が販売するタワーは、多様な設計が可能で信頼性の高い構造部材を使用しており、設置を希望されるお客様に同社を紹介している。</p> <p>また当行は、地域の事業者の皆様に対して、地震・津波対策の設備投資（前述の「津波避難タワー」含む）について資金面からのサポートを強化すべく、平成26年10月より「南海トラフ地震対策ローン」の取り扱いを開始しており、耐震診断資金やBCP策定資金についても同ローンで取り組みすることができる。さらに、関連会社の紀陽リース・キャピタルと連携して、大規模地震対応模擬訓練を開催し、BCP（事業継続計画）の重要性を理解してもらうことで、BCP策定の推進にも取り組んでいる。</p> <p><津波避難タワー></p> <p>地震発生から津波到達までの時間的猶予や地理的条件等の理由によって近くの安全な高台等への避難が困難と想定される地域において、従業員や近隣住民が緊急的な一時避難場所として利用する施設。</p> <div data-bbox="619 1223 1137 1619" data-label="Image"> </div> <p>津波避難タワーイメージCG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難面積約 100 m² ・避難人数 200人

銀行名	紀陽銀行
タイトル	事業性評価による取組
取組み内容	<p>○地域金融機関には、顧客や地域の発展に貢献するため、お取引先をよく知り、事業性評価を行う能力(目利き力)を高め、ライフステージに応じた適切なソリューションや融資を提供することが求められている。</p> <p>○平成27年4月には、「事業性評価」の本部支援機能強化の一環として、地域振興部内に「産業調査室」を新設した。同室は地域経済動向や、企業および企業群に関する情報収集・分析と情報発信を行うことにより、当行の事業性評価に基づく融資に資するべく活動している。</p> <p>○事業性評価に基づく融資取組については、各階層毎の行員を対象とした研修を通じ、お取引先の情報蓄積、ライフステージの把握、SWOT分析などに基づく事業性評価能力の向上を図っており、実態を把握し、成長可能性・持続可能性を評価した融資取組に努めている。</p> <div data-bbox="494 958 1364 1792" data-label="Diagram"> <p>The diagram illustrates the business evaluation process. At the top, '顧客情報蓄積' (Customer Information Accumulation) is shown in a green box. Below it, a blue box contains three categories: '<ヒト>' (People) including '経営者の経営力' (Manager's management ability), '従業員' (Employees), and '株主 など' (Shareholders, etc.); '<モノ>' (Things) including 'モノの魅力' (Product appeal), '在庫管理(物流)' (Inventory management/logistics), '仕入先・販売先' (Suppliers/Sellers), and '商流 など' (Trade flow, etc.); and '<カネ>' (Money) including '規模・成長性' (Scale/Growth), '収益性・安全性' (Profitability/Safety), 'BS、PL' (Balance Sheet, Profit/Loss), and '資金調達力 など' (Fund-raising ability, etc.). To the left of this central box is a list of '業界' (Industry) factors: '市場規模' (Market size), '業界動向' (Industry trends), '業界地位' (Industry status), '成長性' (Growth), '商習慣' (Business customs), '販売先' (Sales destinations), '仕入先' (Suppliers), '新規参入企業' (New entrants), '競合企業' (Competitors), and '代替品 など' (Substitutes, etc.). Arrows point from the industry factors and the central categories to a box labeled '情報の整理分析' (Information Organization and Analysis), which includes 'ライフステージの把握' (Life stage understanding), 'SWOT分析' (SWOT analysis), and '課題・問題点の抽出と対策' (Issue/Problem identification and countermeasures). This leads to '事業性評価' (Business Evaluation), which assesses '持続可能性' (Sustainability) and '成長可能性' (Growth potential). The final step is 'ソリューションの提供・融資取組' (Solution provision and financing), which leads to a '好循環' (Virtuous Cycle) and '顧客・地域の成長・発展' (Customer and regional growth and development), ultimately ensuring '安定的な収益確保' (Stable profit assurance).</p> </div> <p style="text-align: center;">■事業性評価イメージ図</p>

銀行名	紀陽銀行
タイトル	養殖魚を加工し海外に輸出する6次産業化への支援
取組み内容	<p>当行は、地域の農林水産分野の成長を支援し、関連する産業と連携して地域の活性化を図ることを目的に、(株)農林漁業成長産業化支援機構や当行グループ企業、他の金融機関と連携し、平成26年1月に「紀陽6次産業化ファンド」を組成した。</p> <p><第一号投資先：(株)食縁(しょくえん)></p> <p>同社は、新宮市と近畿大学を中核に、国内養殖魚の海外輸出を目指すプロジェクトの事業会社として設立され、当行は本プロジェクトに参画し、事業計画策定から補助金申請、資金調達などに協力を行ってきた。当初は市と大学の関係2社の出資だったが、その後上場企業など12社の出資が集まり、事業化に向けた体制を構築することができた。</p> <p>同社の具体的事業は、養殖魚(主にブリ)をフィレ(3枚おろし)加工し、酸化を防止する機能性フィルムで包装の上、瞬間冷凍し、海外に輸出するもの(海外でも刺身として食べることができる)。</p> <p>新宮市内に建設中の水産物加工工場については、平成27年12月の竣工を予定しており、最終的には約50名の地元雇用を見込んでいる。</p>

銀行名	紀陽銀行
タイトル	「世界遺産登録応援定期預金～百舌鳥(もず)・古市(ふるいち)古墳群～」の取扱
取組み内容	<p>創立120周年を記念した大阪地区における地域社会向け貢献活動の一環として、取り扱いを開始。</p> <p>本定期預金を取り扱うことにより、地域の皆様の百舌鳥・古市古墳群に対する認知度を高めていくとともに、世界遺産登録推進への気運を盛り上げていく。</p> <p>また、お客様の預け入れ総額の0.01%相当額を当行より堺市世界文化遺産登録推進基金に寄付する商品となっており、お客様の預け入れが世界遺産登録への応援につながるものとなっている。</p> <p>なお、これまでも世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を応援する「世界遺産定期預金」の取り扱いをおこなっており、総額約8百万円を和歌山県世界遺産協議会へ寄付している。</p>